



鳳鳴朝陽

兵庫県立篠山鳳鳴高等学校 進路通信

令和元年
7月18日発行
進路指導部
No.2

【生徒信条】
・勉強第一
・正義の実行
・身体の強健

「進路のしおり」利用の手引

令和元年度版「進路のしおり」が皆さんの手元に来ていると思います。今年度の「進路のしおり」の内容は以下のようになっています。

- ①校長先生からのメッセージ : 1ページ
- ②進路指導年間計画 : 2ページ
- ③平成30年度卒業生進路統計 : 3ページ～
- ④進学を希望する人へ : 12ページ～
- ⑤就職を希望する人へ : 30ページ～
- ⑥卒業生の合格体験記 : 32ページ～

特に卒業生の合格体験記は、合格した直後に自分の受験を振り返って書いてもらった率直な生の声です。やってよかったこと、反省すべきこと、勉強法はどうすればよいか、受験ではどのような精神状態になるかなどを、後輩の諸君に向けて書いてくれました。ぜひ手元に置いて、自分がかじけそうになったとき、スランプになったときに、先輩たちの体験を参考にしてください。

令和3年度入試改革情報

今年度の「進路のしおり」では、24ページから29ページを令和3年(2021年)度入試改革情報として割り当てました。大学入試改革としての次の三本柱についての解説をしています。

- ①大学入試センター試験から大学入学共通テストへの変更(学力の3要素を問う・国英で一部問題が記述式)
- ②英語4技能の重視(英語外部資格・検定の活用など)
- ③「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の評価(調査書重視・eポートフォリオの活用)

令和3年(2021年)度入試改革の当事者である1・2年生のひとは、この部分を特にしっかり把握する必要があります。また英語外部資格・検定の活用について、この進路通信裏面に説明しています。3年生にも関係することがありますのでよく読んでください。

なお令和3年(2021年)度入試改革を非常に不安に

思っているひとがいるかもしれません。確かにこれまでの「知識・技能」中心の出題から「思考力・判断力・表現力」や「主体性・多様性・協働性」が問われるようになりますが、教育課程が変わるわけではなく、学習内容はこれまでとおりです。改革の内容をよく理解して、自信を持って臨んでください。

1・2年生夏休み中の活動のヒント

夏休み中に1学年は総合学習で地域探究・職業人インタビューなど、2学年は学校見学(オープンキャンパス参加)がそれぞれ課されています。これについていくつか参考になる情報を記します。

本校と連携関係にある大学のオープンキャンパス

- ・**大阪大学**: 人間科学部以外の学部で8月6日～10日の予定で実施されます。詳細はホームページをご覧ください。予約が必要です。
- ・**神戸大学**: 8月6日～9日の予定で実施されます。大阪大学同様、ホームページで確認・予約してください。
- ・**兵庫県立大学**: 神戸商科キャンパス8月6日・姫路工学キャンパス8月22日23日・播磨理学キャンパス8月22日・明石看護キャンパス8月8日9日です。理学キャンパスの無料バスは予約が必要です。詳細は確認してください。
- ・**関西学院大学**: 神戸三田キャンパス7月28日・上ヶ原キャンパス8月3日4日・聖和キャンパス8月4日(要確認)
- ・**甲南大学**: 全キャンパスとも8月4日(要確認)

ひらめきときめきサイエンス

- ・各大学の研究室で模擬研究を行う催しです。オープンキャンパスよりさらに深く大学を知ることができます。詳細はホームページをご覧ください。

「新たな挑戦-本音で楽しくトーク」

- ・8月24日に本校で行われる京都大学の学生や丹波篠山文化会議の会員との座談会です。出席希望者は、進路指導部に申込票を提出してください。

「獣がい対策」実践塾

- ・過疎化にともなって大きな問題となっている「獣害」を高校生の視点から考えるワークショップです。オプションのボランティア活動もあります。参加希望者は進路指導部に申込票を提出してください。

英語外部資格・検定利用入試について

英語外部資格・検定利用入試を利用する入試が近年増えています。また令和3年度入試に向けて、大学入試センターが「大学入試英語成績供給システム」を立ち上げ、それに向けての現2・3年生対象に共通IDの発行が、この秋から始まります。

英語外部資格・検定利用入試とは

英検・GTEC・TOEFL・ケンブリッジ英検・IELTSなどの資格・検定結果を活用する入試です。主に次の4つの活用がされています。

- ①出願資格：一定以上の級や得点を持っていないと出願ができない。
- ②得点換算：一定以上の級や得点を入試の得点として見なす(たとえば2級ならば80点のように)。
- ③加点：一定以上の級や得点を入試の総合点に加算する。
- ④判定優遇・合否参考：合否判定の際に何らかの優遇がある。

平成31年度入試では推薦・AOで352大学、一般入試で187大学が利用し、近年、利用大学が急増しました(旺文社蛍雪時代4月号より)。今年度受験する3年生は、自分の志望校がどうなっているのか必ずチェックしてください。

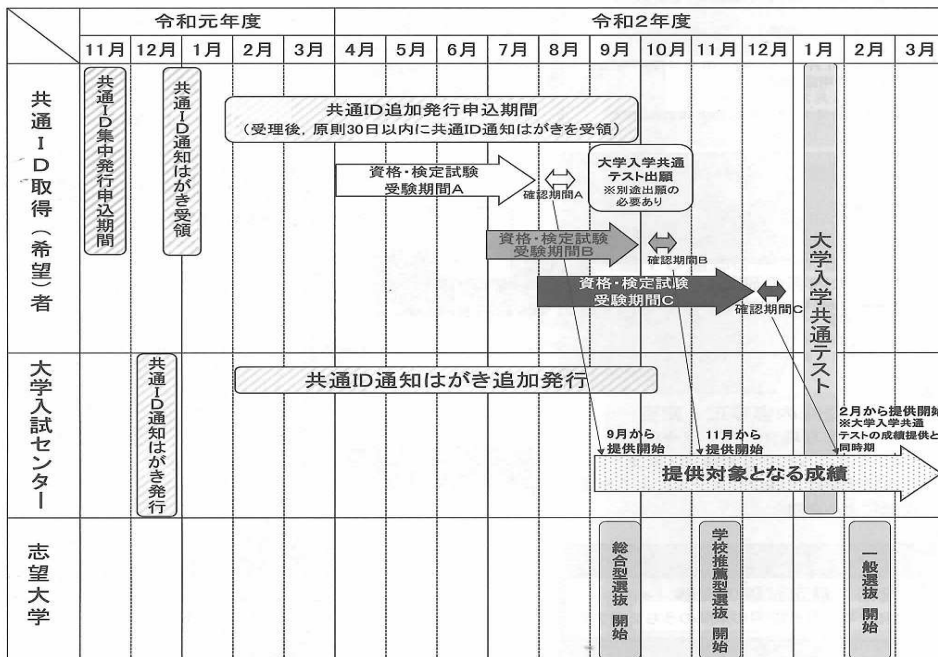
次に紙面の右で令和3年度入試から始まる大学入試英語提供システムについて説明します。

大学入試英語成績提供システムとは

英語外部資格・検定試験の成績を大学入試センターで集約・管理し、受験生が受験する大学にその成績を供給するシステムで、令和3年度入試から始まります。大学入学共通テストを利用しない選抜、総合型選抜(AO入試)、学校推薦型選抜(推薦入試)でもこのシステムは使われます。供給される資格・検定試験は英検・GTEC・TOEFL・ケンブリッジ英検・IELTSなどです(TOEICは7月2日に辞退発表)。このシステムを利用するためには、資格・検定試験の受験を申し込む前に、共通IDを取得する必要があります(無料)。2年生および関係する3年生には2学期に改めて連絡します。

共通IDを取得後、資格・検定試験の受験申込をしますが、登録できる成績は令和2年4月～12月の期間の中で2回までとなっています。また受験期間は下図のようにA～Cの3期間に分けられ、それぞれ、令和2年9月以降・令和2年11月以降・令和3年2月以降に成績が大学に提供されます。総合型選抜(AO入試)や学校推薦型選抜(推薦入試)では、1学期に資格・検定試験を受験する必要がありますがある場合もあります。

なお文科省5月13日時点の調査では、国立大学に関して活用予定は右下表のとおりです。出願資格とする大学は、語学力の国際標準規格「CEFR(セファール)」「A2」(英検準二級程度)を基準としたところが多いようですが、志望校については各自必ず調べておいてください。



国立大の英語の民間検定試験活用予定

| | |
|------------------------------|-----|
| ① 一定以上の成績取得を出願資格に | 40校 |
| ② 成績を点数化してマーク式に加点 | 33校 |
| ③ 出願資格とした上で加点 | 7校 |
| ④ 一定以上の成績でマーク式を満点扱い | 3校 |
| ⑤ 成績提出を必須とせず、高校による英語力証明で代替可能 | 8校 |
| ⑥ 検定とマーク式で高得点の方を活用 | 1校 |
| ⑦ 活用するが具体的な方法は未定 | 8校 |
| ⑧ 利用しない | 4校 |

※1 資格・検定試験によって、共通ID取得者が試験を受験してから成績が確定するまでに必要な期間が異なるため、表のとおり、資格・検定試験受験期間A、B及びCは、一部重なっている部分があります。各資格・検定試験実施主体が毎年公表する資格・検定試験の実施スケジュールでは、実施される資格・検定試験がそれぞれの受験期間の試験であるか、また大学への成績提供がいつ開始されるのかについて示されます。

同じ大学でも学部によって対応が異なったり、複数の活用を組み合わせたりするため、学校数には重複がある(5月13日時点、文科省調べ)